

令和2年度 社会科 2年地理 年間指導計画・評価計画

< 1 > 教科の目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

< 2 > 地理的分野の目標

- (1) 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。
- (2) 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかかわりでとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。
- (3) 大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。
- (4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。

< 3 > 評価の観点及びその趣旨

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、よりよい社会を考え自覚を持って責任を果たそうとする。
社会的な思考・判断・表現	社会的事象から課題を見だし、社会手事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
資料活用の技能	社会的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
社会的事象についての知識・理解	社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身に付けている。

< 4 > 観点別評価の評価基準と評定

観点別 評価基準	A	十分に満足できる状況である。(80%以上)
	B	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	C	努力を要する状況である。(50%未満)

評定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。(90%以上)
	4	十分満足できる状況である。(80%以上)
	3	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	2	努力を要する状況である。(50%未満)
	1	一層努力を要する状況である。(20%未満)

< 5 > 指導上の配慮事項

- ① 生徒の言語活動を充実させる指導。 ← 思考力・判断力・表現力の育成。
- ② 体験的な学習<体>や問題解決的な学習。 ← 自主的・自発的な学習の促進。
- ③ 学習の見通しを立てたりする学習。 学習を振り返ったりする学習。
- ④ 個に応じた指導の充実。 → 個別指導 グループ別指導 少人数指導
 ティームティーチング 習熟の程度に応じた指導
 繰り返し指導 生徒の興味・関心に応じた課題学習
 コンピュータを活用した学習 補充的な学習
 発展的な学習

社会科 2 学年 地理的分野 年間指導計画・評価計画

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題・学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	技	知	
6	6 オセアニア州 ①オセアニアの自然環境 ②移民の歴史と多文化社会 ③海外と結びついたオセアニアの産業 ④強まるアジアとの結びつき 4章 世界のさまざまな地域の調査～韓国を例に 1 調べる国や地域を決める 2 資料を収集分析する 3 まとめ	オセアニア州の自然の特色についての基礎的な事項を身につける。 どのような地域か。 ○オセアニアの自然環境 オーストラリアの歴史から移民の歩みと近年の多文化社会について考える。 ○オセアニアの学習を深めよう ○移民の国、先住民との共存、多文化社会 オセアニア州の産業の特色を理解する。 ○降水量に左右される農業 ○鉱産資源が豊富なオーストラリア オセアニアの国々は、どのような点でアジアの国・地域と結びついているのか考える。 ○これまでの学習を振り返って、もっと調べたい、疑問が残っている国や地域を選び、その国や地域を調べるテーマや手順を決める。 ○調べる視点や手順を身につける。 ○調べる国や地域の基礎的な情報を集める。 ○統計資料や書籍、インターネット等から調べた韓国の食文化、工業 ○国や地域について調べた結果をレポート等にまとめ、発表する。 ○調べた結果をレポートにまとめる。	●		●		<ul style="list-style-type: none"> ・地図、雨温図や写真からオセアニア州の自然の特色を読み取り説明している。 ・オセアニア州の自然の特色について知識を身につけている。 ・オーストラリアの移民の歩みと多文化社会について関心をもち、課題と取り組みについて追究している。 ・オセアニア州の産業と我が国との関連を理解している。 ・オセアニアとアジアの結びつきが強い理由をまとめている。 ・世界の地域の特色に関心をもち、意欲的に調べている。 ・国や地域を調べるテーマと方法、手順を考えている。 ・多様な情報収集の手段を活用して、意欲的に調べている。 ・調べる国や地域について情報収集し、整理している。 ・国や地域について調べた事項を関連づけて考察している。 ・地図や統計・グラフを活用し、わかりやすくまとめている。

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題・学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	技	知	
6	第2部 日本のさまざまな地域 1章 日本の姿 1 世界中での日本の位置	地球儀や地図を活用し,我が国の国土の位置,世界各地との時差,領域の特色と変化,地域区分などを取り上げ,日本の地域構成を大観させる。 地球儀や世界地図を活用しながら,さまざまな方法で日本の位置を示す。 ○世界における日本の位置の表し方	●		●		○授業観察 ○ノート、ワークシート ○小テスト（単元テスト） ○定期考査 ○レポート（宿題） ・地球上における日本の位置に関心をもち,日本の位置の示し方を意欲的に追究しようとしている。 ・緯度と経度のみならず,方位や大陸や海洋との位置関係など,多様な方法を用いて地球上における日本の位置を説明している。
	2 時差でとらえる日本の位置	時差の生じるしくみを理解し,おもな国々と日本の時差を計算できる。 ○時差を用いて日本の位置をとらえよう	●		●		・時差について関心をもち,時差の求め方を意欲的に追究しようとしている。 ・日本とイギリスなど,おもな国々の都市との時差を求めている。
	3 日本の範囲	日本の領域に関する基礎的事項を理解し,緯度や経度,その他の地名などを用いながら,日本の範囲を表現する。 ○日本の領域 ○海の資源の利用と排他的経済水域			●	●	・日本の領域を緯度や経度などを用いて説明している。 ・日本の領域や排他的経済水域,他国との領土問題について理解し,その知識を身につけている。

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題・学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	技	知	
6	4 都道府県と地域区分	47 都道府県及び県庁所在地の名称と位置を示す。 ○都道府県と都道府県庁所在地	●			●	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県の名称や位置に関心を持ち、意欲的にそれらを覚えようとする。 ・47 都道府県と県庁所在地の位置と名称を地図上で示している。
	5 さまざまな地域区分と略地図	日本を区分するさまざまな視点を知り、さまざまな地方区分があることを理解するとともに、日本の略地図を表現する。 これまで学習した内容をふまえて日本の略地図を描く。 ○さまざまな地域区分 ○日本の略地図をかいてみよう	●		●		<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地域区分や略地図に関心を持ち、意欲的に地方区分を調べ略地図を描こうとしている。 ・おもな経線や緯線を入れながら、日本の略地図を描いている。
7	2章 世界と比べた日本の地域的特色	世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的特色を取り上げ、我が国の国土の特色を、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結びつきの視点から大観させる。					
	1 自然環境の特色						
	① 世界と比べた日本の山地	世界の山脈が連なる造山帯の中に位置し、地震や火山が多い日本の山地の特色を理解する。 ○地震や火山が多いのはどこだろう ○日本列島の背骨をなす山地			●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の地形を示した地図を活用し、二つの造山帯を読み取っている。 ・二つの造山帯の位置と名称、日本の山地の特色について基礎的事項を理解し、その知識を身につけている。
② 世界と比べた日本の平野	日本の河川及び平野の特色を理解する。 ○川がつくる平野 ○平野の種類		●		●	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の河川の特色を世界の河川との比較や日本の平野の特色と関連させて考える。 ・日本の平野の特色と平野の種類についての基礎的事項を理解し、その知識を身につけている。 	

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題・学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	技	知	
7	③ 日本の海岸と海流	日本のおもな海岸地形の特色と日本付近を流れるおもな海流について理解する。 ○変化に富んだ日本の海岸 ○日本を取りまく海			●	●	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地形を示した地図を活用し,リアス海岸,砂浜海岸,サンゴ礁に囲まれた海岸を読み取っている。 日本に見られるおもな海岸地形やおもな海流について基礎的事項を理解し,その知識を身につけている。
	④ 世界の気候の特色	雨温図や写真などを活用しながら,世界の気候の分布と各気候帯の特色を理解する。○世界のさまざまな気候			●	●	<ul style="list-style-type: none"> 雨温図や写真などから各気候帯の特徴を読み取っている。 5つの気候帯の分布や各気候帯の特色について基礎的事項を理解し,その知識を身につけている。
	⑤ 日本の気候の特色	雨温図や写真などを活用しながら,日本の気候の特色と地域における気候のちがいについて理解する。		●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> 季節風が日本の気候に及ぼす影響と,地形や海流との関連から6つの気候区分ができることを考える。 日本の気候の特色と6つの気候区分についての基礎的事項を理解し,その知識を身につけている。
	⑥ 日本のさまざまな自然災害と防災	日本でよく発生する自然災害を知り,その特色を気候や地形の特色との関係から考える。		●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> 日本でよく発生する自然災害と気候や地形の関係を考える。 日本で発生する自然災害の種類と対策についての基礎的事項を理解し,その知識を身につけている。
	2人口の特色 ①世界の人口分布と変化	世界の人口分布や増加のようすを,地域による違いに着目しながら理解する。 ○世界の人口分布 ○世界の人口の変化と課題			●	●	<ul style="list-style-type: none"> グラフや地図などから世界の人口分布と変化の特色を読み取るとともに,人口ピラミッドからその国の人口の特色を読み取っている。

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題・学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	技	知	
7	②日本の人口 の変化と特 色	日本の人口分布や年齢別人口構成の特 色を知り、人々の生活に及ぼす影響を理 解する。 ○少子化と高齢化 ○日本の人口分布の特色と課題			●	●	・世界の人口分布と変化につい ての基礎的事項を理解し、その 知識を身につけている。 ・人口ピラミッドから少子高齢 化を読み取っている。 ・日本の人口分布と年齢構成及 びその影響についての基礎的 事項を理解し、その知識を身に つけている。
	3資源や産業 の特色 ①エネルギー ・鉱産資源 の生産と消 費	世界的視野から日本の資源・エネルギー の消費の現状を理解させるとともに、国 内の産業の動向、環境やエネルギーに関 する課題を取り上げ、日本の資源・エネ ルギーと産業に関する特色を大観する。 ○資源の生産と消費 ○資源を輸入にたよる日本	●		●		・日本のエネルギー資源が多く を海外からの輸入に依存して いることの問題点を考える。 ・主題図やグラフから世界と日 本の鉱産資源やエネルギーの 現状を読み取っている。
	②世界の中の 日本の産業	世界における日本の産業の特色とその 内容の変化を理解する。 ○世界の農業と日本 ○世界の工業と日本 ○日本の産業の変化			●	●	・地図や図、グラフから日本の農 業と工業の特色と変化を読み 取っている。 ・日本の産業の特色と変化につ いての基礎的事項を理解し、そ の知識を身につけている。
	③日本の農業 とその変化	日本の農業地の広がりや特色を、自然条 件や社会条件との関係に着目しながら 理解する。 ○日本の農業地域 ○日本の農業の特色	●		●		・グラフから日本の農業の変化 を読み取り、問題点を考える。 ・日本の農業地域の広がりや特 色及び問題点についての基礎 的事項を理解し、その知識を身 につけている。
	④日本の林業 ・漁業	日本の林業・漁業の現状と課題を理解す る。 ○日本の林業の特色 ○日本の漁業の特色	●		●		・グラフから日本の林業と漁業 の変化を読み取り、それぞれの 課題を考えている。

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題・学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	技	知	
8	⑤日本の工業とその変化 ⑥日本の商業・サービス業	日本の工業地域の分布や工業出荷額をもとに、日本の工業の特色と変化を理解する。 ○日本の工業地域 ○変化する日本の工業		●		●	<ul style="list-style-type: none"> 日本の林業と漁業の現状と課題に関連する基礎的事項について理解し、その知識を身につけている。 日本の工業地域が太平洋ベルトに集中する理由と日本の企業が海外に進出する理由を考える。 日本の工業地域や工業の内容についての基礎的事項を理解し、その知識を身につけている。 地図や写真、グラフから、第3次産業の現状を読み取り、社会の変容との関係を考える。 日本の商業・サービス業の現状と課題を理解する。
	4 地域間の結びつきの特色 ①世界の交通・通信網と日本 ②日本の交通・通信網	日本は交通や通信で世界とどのように結びついているか、物、人、情報の三つの観点から考える。 ○交通による結びつき ○通信による結びつき		●	●		<ul style="list-style-type: none"> 交通や通信網の発達の背景と日本と世界との結びつきについて考える。 航空輸送と海上輸送の違いを表にまとめる。
9	3章 日本の諸地域	日本をいくつかの地域に区分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結びつきのいずれかを中核とした考察をもとにして地域的特色をとらえさせる。		●	●		<ul style="list-style-type: none"> 交通網の発達や通信の発達が人々の生活に及ぼす影響を考える。 主題図とグラフから、交通網の発達による時間距離の変化と国内輸送の内訳の変化を読み取っている。

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題・学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	技	知	
9	<p>序節： 日本の諸地域を学ぶにあたって</p> <p>1 九州地方～自然環境の視点を中心にして～</p> <p>①九州地方はどのような地方だろうか</p> <p>②火山のめぐみと防災への取り組み</p> <p>③九州地方の都市や工業と自然環境</p> <p>④自然環境と農業のくふう</p>	<p>日本の諸地域を7地方区分でみて,それぞれの地方の地域的特色をとらえる視点を選定する。</p> <p>○7地方区分で地域をみる</p> <p>○地方の特色をとらえる視点</p> <p>九州地方を概観し,自然や人々の生活の特色を理解する。</p> <p>○地図をながめて</p> <p>○九州地方の特色を追究する課題</p> <p>火山によるめぐみを生かした九州地方の生活のようすと火山による災害と防災への取り組みを理解する。</p> <p>大陸に近い九州地方の都市や工業の特色とアジアとの結びつきについて考える。</p> <p>○港町から発展した福岡</p> <p>○豊かな自然環境を生かした工業</p> <p>温暖な気候や火山に関係した地形など,自然環境を生かした九州の農業の特色を理解する。</p> <p>○気候を生かした平野部の農業</p> <p>○シラス台地での畑作・畜産</p>	●			●	<p>・地域の区分の仕方やそれぞれの地方の特色に興味・関心を持ち追究しようとしている。</p> <p>・7地方区分についての基礎的事項を理解し,その知識を身につけている。</p> <p>○ワークシート</p> <p>・グラフや写真から九州地方の地形や気候の特色を読み取っている。</p> <p>・九州地方の地形や気候についての基礎的事項を理解し,その知識を身につけている。</p> <p>・地図帳や写真・グラフから,九州地方に火山が多いことを読み取っている。</p> <p>・九州地方のおもな火山と温泉,火山による災害と防災の取り組みについて理解している。</p> <p>・九州地方の工業の変化について,歴史的な立地条件の変化から考える。</p> <p>・九州地方のおもな工場の地図から,I C工場が空港や高速道路の近くにつくられていることを読み取っている。</p> <p>・九州地方の平野部の農業とシラス台地における畑作・畜産がさかんな理由を自然環境との関連から考える。</p>

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題・学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	技	知	
9	⑤沖縄の自然環境とくらしや産業	<p>沖縄の自然環境とくらしや産業とのかかわりについて考える。</p> <p>○アジアとの交流の歴史</p> <p>○自然災害に備えたくふう</p> <p>○自然環境を生かした産業</p>		●	●	<p>・九州地方の農業についての基礎的事項を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>・沖縄の自然環境とくらしや産業との関連及び課題について考える。</p> <p>・写真やグラフから沖縄の産業の特色を読み取っている。</p>	
	中国・四国地方 ～他地域との結びつきの視点を中心にして～						
	①中国・四国地方はどのような地方だろうか	<p>中国・四国地方を概観し、自然環境の特色を理解する。</p> <p>○地図をながめて</p> <p>○中国・四国地方の特色を追究する課題</p>			●	●	<p>・中国・四国地方が、地形や気候の特色から瀬戸内・南四国・山陰の3地域に区分できることをまとめている。</p> <p>・中国・四国地方の自然環境についての基礎的事項を理解し、その知識を身につけている。</p>
②交通網の発達と地域の生活の変化	<p>中国・四国地方と他の地域を結びつけている交通網の整備による生活の変化を考える。</p> <p>○海の道と陸の道</p> <p>○橋の開通と生活の変化</p> <p>○多くの人が訪れる中心都市 広島市</p>		●	●		<p>・新幹線や高速道路、本州四国連絡橋の開通により、人々の生活や産業がどのように変化したかを考える。</p> <p>・グラフと地図から、交通網の整備によって通勤・通学や観光に変化があったことを読み取っている。</p>	
③海運と陸運で結びつく工業	<p>中国・四国地方の工業や物の流れと交通網の整備との関係を考える。</p> <p>○海運で結びつく瀬戸内の工業</p> <p>○高速道路の開通による変化</p>		●	●		<p>・瀬戸内工業地域が発展してきた理由を海運や工業用地との関連から考える。</p> <p>・p.185の地図と地図帳を照合して、中国自動車道沿いの工業団地の場所を読み取っている。</p>	

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題・学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	技	知	
10	④高速道路で 広がる結び つき	高速道路の開通が、南四国と山陰の農業 や観光に及ぼした影響について考える。		●	●		<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路など交通網の整備により高知平野の農業がどのように変化したか、写真、地図、グラフから読み取り、説明している。 ・山陰地方への観光客が増加している理由を、写真やグラフ、教科書本文から読み取り、まとめている。
	3 近畿地方 ～環境保全の 視点を中心に して～						
	①近畿地方は どのような 地方だろう か	近畿地方を概観し、自然環境の特色を理解する。 ○地図をながめて ○近畿地方の特色を追究する課題			●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や図から琵琶湖で発生した環境問題の内容を読み取りまとめている。 ・近畿地方の自然環境や環境問題についての基礎的事項を理解し、その知識を身につけている。
	②琵琶湖の水 が支える京 阪神大都市 圏	大阪・神戸の特色と琵琶湖の水が京阪神 大都市圏を支えていることを理解する。 ○京阪神大都市圏と琵琶湖・淀川の水 ○中心都市大阪 ○国際都市神戸			●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・地図やグラフから、琵琶湖及び淀川水系が京阪神大都市圏に及ぼす影響を読み取っている。 ・大阪、神戸の特徴及び琵琶湖と淀川の水と京阪神大都市圏に関連する基礎的事項を理解し、その知識を身につけている。
	③近畿地方の 工業と環境 保全	阪神工業地帯の現状と課題及び環境保 全の取り組みに着目した工業について 調べ考える。 ○阪神工業地帯と課題 ○課題を克服する新しい工業		●	●		<ul style="list-style-type: none"> ・グラフから、工業用水の水源の変化を読み取り、その理由について考え、説明している。 ・図やグラフから阪神工業地帯の工業の内容や特色を読み取っている。

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題・学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	技	知	
10	④古都奈良・京都と歴史的景観の保全	古都奈良・京都の町並みの変化と環境保全について調べ考える。 ○古都奈良・京都と町なみの変化 ○歴史的景観の保全に向けて		●	●		<ul style="list-style-type: none"> ・写真,グラフから,近畿地方に文化財が多いことを読み取り,歴史的景観の保全が大切であることを考え,自分の意見を表現している。 ・写真や教科書本文から,奈良・京都での歴史的景観保全のようすを読み取る。
	⑤環境に配慮した近畿地方の農林水産業	近畿地方で環境に配慮した農林水産業があることを調べる。 ○近畿地方南部の林業の変化 ○近畿地方北部の農業・漁業の変化		●	●		<ul style="list-style-type: none"> ・林業や農業・漁業で環境に配慮した取り組みを行うことが地球環境に与える良い影響について考え,自分の意見を表現している。 ・林業従事者のグラフやズワイガニ漁獲量の変化のグラフから,林業と漁業における課題を読み取っている。
12	4 中部地方～産業の視点を中心として～						
	①中部地方はどのような地方だろうか	中部地方を概観し,東海・中央高地・北陸の三地域の地形・気候及び工業・農業の特色を理解する。 ○地図をながめて ○中部地方の特色を追究する課題			●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や雨温図・グラフから,中部地方の三つの地域のそれぞれの自然環境及び工業・農業の特色を読み取っている。 ・中部地方の自然環境についての基礎的事項を理解し,その知識を身につけている。
	②輸送機械工業がさかんな東海	東海ではなぜ輸送機械工業がさかんになったのか,歴史的背景や結びつきに着目して調べる。 ○自動車の生産がさかんな中京工業地帯 ○オートバイ・自動車生産がさかんな東海工業地域		●	●		<ul style="list-style-type: none"> ・東海で工業がさかんになった歴史的背景を調べ,考えている。 ・地図や写真・グラフから,東海の工業都市やさかんな工業のようすを読み取っている。

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題・学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	技	知	
12	③名古屋大都市圏と東海の農業	名古屋大都市圏と東海の農業の特色を理解する。 ○第3次産業がさかんな名古屋市 ○自然や交通の便のよさを生かした農業		●		●	<ul style="list-style-type: none"> ・知多半島や渥美半島における菊などの施設園芸農業,静岡県で茶の栽培がさかんな理由を多面的に考え,自分の意見を表現している。 ・名古屋大都市圏と東海の農業の特色についての基礎的事項を理解し,その知識を身につけている。
	④変化する中央高地の産業	中央高地の農業・工業の特色と変化について理解する。 ○養蚕から果樹栽培へ ○製糸業から電気機械工業へ ○高原を野菜産地に			●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや写真,新旧の地形図などから中央高地の産業の変化を読み取っている。 ・中央高地の農業・工業の特色と変化についての基礎的事項を理解し,その知識を身につけている。
	⑤北陸の産業と雪とのかわり	北陸で,稲作や伝統的工芸品をつくる産業がさかんな理由を自然環境と関連させて考える。		●	●		<ul style="list-style-type: none"> ・北陸の産業の発達の背景を雪とのかわりから多面的に考える。 ・雪が多い地域で発達した工業の成因を写真や教科書本文から読み取っている。

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題・学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	技	知	
2	7 関東地方 ～人口や都市 の視点を中心 にして～ ①関東地方は どのような 地方だろう か ②多くの人口 を引き寄せ る東京 ③東京大都市 圏の拡大と 都市 ④人口集中に よる都市問 題とその対 策	<p>関東地方を概観し，自然環境の特色と人口分布について理解する。 ○地図をながめて ○関東地方の特色を追究する課題</p> <p>首都東京の機能と特色について理解する。○日本の首都，東京 ○商業・情報・文化の中心地，東京</p> <p>東京大都市圏とその中の都市について，人口集中による住宅地の拡大に着目して調べる。</p> <p>人口集中による都市問題の内容とその解決策を考える。</p>					<p>・地図や写真・雨温図・グラフなどから，関東地方の地形と気候の特色や人口分布の特色を読み取っている。 ・関東地方の自然環境や人口についての基礎的事項を理解し，その知識を身につけている。</p> <p>・地図や写真・グラフなどから，首都東京の機能やさまざまな機能が集中していることを読み取りまとめている。 ・首都東京の様々な機能と特色についての基礎的事項を理解し，その知識を身につけている。</p> <p>・地図やグラフなどから，東京大都市圏が拡大した背景・要因を多面的に考える。 ・地図や写真・グラフなどから東京大都市圏の拡大のようすを読み取っている。</p> <p>・地図やグラフなどから，東京大都市圏が拡大した背景・要因を多面的に考える。 ・地図や写真・グラフなどから東京大都市圏の拡大のようすを読み取っている。</p>

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題・学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	技	知	
2	5 東北地方 ～生活・文化 の視点を中心 にして～						
	⑤工業の発展 とともに集 中した人口	<p>関東地方において工業の発展とともに人口が集中し、工業地域が拡大してきたことを調べる。</p> <p>○京浜工業地帯とその変化</p> <p>○北関東への工場進出と地域の変化</p>		●	●		<ul style="list-style-type: none"> ・工業の発展が労働力としての人口を集中させ、工業地域が京浜から周辺部に拡大していったことを調べ考える。 ・地図やグラフなどから関東地方でさかんな工業の内容を読み取っている。
	⑥大都市圏の まわりの地 域のようす	<p>関東地方の農業地域や山間部のようすを、近郊農業や過疎化への取り組みに着目して調べる。</p> <p>○大都市圏向けの農産物の生産</p> <p>○過疎地域の取り組み</p>		●	●		<ul style="list-style-type: none"> ・写真やグラフから、関東地方において野菜の栽培がさかんであることを読み取り、その理由を考えている。 ・写真や文章資料から、関東地方の山間部の過疎地域に対策として都市部との交流や若い人達の間で行われている。
	①東北地方は どのような 地方だろう か	<p>東北地方を概観し、自然環境や歴史の特色を理解する。</p> <p>○地図をながめて</p> <p>○東北地方の特色を追究する課題</p>			●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や写真・雨温図などから東北地方の自然環境の特色を、P.237 の写真から伝統的な祭りや伝統工芸品を読み取る。 ・東北地方の位置や自然環境及び歴史についての基礎的事項を理解し、その知識を身につけている。
	②伝統行事を はぐくんだ 東北地方の 農業	<p>東北地方の伝統行事と農業との関係を理解する。</p> <p>○人々の生活と稲作</p> <p>○東北地方の稲作とその変化</p> <p>○稲作とならんでさかんな果樹栽培</p>			●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や地図・グラフなどから、東北地方の伝統行事のようすや農業の特色を読み取る。 ・東北地方の伝統行事と農業についての基礎的事項を理解し、その知識を身につけている。

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題・学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	技	知	
3	③生活の変化と産業	東北地方の伝統工芸品の由来と変化,及び工業が農家の生活と深くかかわりながら発達してきたことを調べる。 ○生活の変化と伝統的工芸品 ○生活の変化と工業		●	●		<ul style="list-style-type: none"> ・写真や地図・グラフなどから,東北地方の工業が交通網の整備とともに発達し,それに伴い農家の生活も変化したことを読み取り,説明している。 ・地図や写真から東北地方の伝統的工芸品を読み取っている。
	④人々がくらす町なみとその変化	東北地方に残る伝統的な町なみのようすと中心都市仙台のようすを理解する。 ○今に残る伝統的な町なみ ○中心都市仙台			●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・地図やグラフなどから,仙台と他の都市との結びつきが深まっていることを読み取っている。 ・東北地方の伝統的な町なみと中心都市仙台に関連する基礎的事項について理解している。
	6 北海道地方～歴史的背景の視点を中心にして～						
	①北海道地方はどのような地方だろうか	北海道地方を概観し,自然環境の特色を理解する。 ○地図をながめて ○北海道地方の特色を追究する課題			●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・図や写真から北海道の自然環境の特色及び農業がさかんなことを読み取っている。 ・北海道の自然環境についての基礎的事項を理解し,その知識を身につけている。
②開発の歴史と都市	北海道地方の産業や都市の発達の様子を,アイヌの人々の文化や開拓の歴史に着目し調べる。 ○アイヌの伝統文化と本州からの移住と開発 ○計画的につくられた都市		●	●		<ul style="list-style-type: none"> ・地図や写真から,地名とアイヌの人々の文化とのかかわり及び開拓の歴史を読み取り,自分の意見を表現している。 ・図や写真から北海道の文化の特色や札幌のようすを読み取っている。 	

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題・学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	技	知	
3	③自然のきびしさを克服した歴史と農業 4章 身近な地域の調査 ～東京都新宿区の例～ 1 地域を調べるテーマを決めよう 2 仮説を立てて調べる方法を考えよう 地形図の使い方①② 地図の使い方	北海道地方の農業は、自然の厳しさを克服してきた歴史があることに着目して調べる。 ○外国との条約による漁業の変化 ○豊かな水産物を生かして 身近な地域における諸事象を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めて地域の課題を見出し、地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を養うとともに、市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身につけさせる。地域に対する疑問を整理して、調査するテーマを設定する。 ○ステップ1 疑問を整理して調べるテーマを決める 調査テーマをもとに仮説を設定し、仮説を確かめる方法を考える。 ○ステップ2 テーマに対して仮説を立てる ○ステップ3 仮説を確かめる方法を考える 地形図の種類と縮尺、方位と記号、等高線など、基礎的な内容を理解し、地形図を活用して、実際の土地利用や起伏、地域の変化を読み取る。	●	●			・北海道でとれる水産物の種類の変化を示した図から、変化した背景と要因をグラフや地図 ・教科書本文から読み取って考え、自分の意見を表現している。 ・地図や写真から、北海道のおもな水産物を読み取っている。

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題・学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	技	知	
3	3 実際に調査 をしてみよ う① ～野外調査～ 4 実際に調査 をしてみよ う② ～地形図や 資料の活用～ 5 調査結果を 整理し地域 の課題をと らえよう 6 意見交換を して発表し よう	<p>野外調査と聞き取り調査をする ○ステップ4</p> <p>野外観察と聞き取り調査を行う</p> <p>新旧の地形図を比較したり,統計資料か ら読み取ったことをグラフ化したり作 図したりする ○ステップ5</p> <p>新旧の地形図を比べて調査する ○ステップ6</p> <p>統計書などの資料から調査する</p> <p>調査した結果をまとめたり,資料を関連 させたりして仮説を確かめ,地域の課題 をとらえる。 ○ステップ7</p> <p>資料の関連を考える ○ステップ8</p> <p>仮説を確かめ, 地域の課題をとらえる</p> <p>まとめた調査結果から見いだした地域 の課題についてグループで意見交換し, 発表する。 ○ステップ9</p> <p>調査で出た地域の課題に対し意見交換を する ○ステップ10</p> <p>調査の結果をまとめて発表する</p>	●		●		<p>・地域の変容に関心をもち, 意 欲的に変容のようすを調べよう としている。</p> <p>・新旧の地形図を比較して変容 を読み取ったり,統計資料を読み 取ってわかったことを図にまと めたりしている。</p> <p>・調査した結果から,仮説の合否 を判断するとともに,新たな疑問 や地域の課題を見いだそうとし ている。</p> <p>・調査結果を他の人にもわかり やすいようにくふうしてまとめ ている。</p> <p>・身近な地域の課題に関心をも ち, よりよい地域社会にしよう と意欲的に意見を発表しようと している。</p> <p>・地域の課題に対して,調べた結果 をもとに,多面的・多角的に解決 策を考え,聞き手がわかりやすい ようにくふうして発表してい る。</p>